企画展「My Space and My Dimension　船坂芳助 ドローイング・コラージュ 展」

会　　期：2022 年 9 月 17 日（土）～10 月 23 日（日）〈33 日間〉
会　　場：企画展示室、美術工芸展示室
展示点数：51 点
観 覧 料：無料
入場者数：1,050 人

【内容】

現在、東京に活動の拠点を置く美濃加茂市ゆかりの版画家・船坂芳助（1939 年～）は、「Lemon」や「My Space and My Dimension（私の空間と次元）」という題名のシリーズで、木版とシルクスクリーンの技法を併用した版画制作を続けてきました。その作品は海外でも高く評価され、国内外のギャラリーや美術館で展覧会やワークショップを多数開催しています。

このような精力的な版画の制作発表を重ねる一方で、船坂芳助は初期の頃からドローイング・コラージュの制作にも力を入れて取り組んできました。それらの多くは美濃加茂のアトリエで制作されたものであり、その総点数は 600 点を超えます。

画材にはダーマトグラフの他、墨や和紙など古来から日本の版画に使用されてきた伝統的な素材を使います。極めて薄い和紙の断片に即興性を帯びた色形や線を描き、裏返してキャンバスに貼り重ねていきます。反転した像を重ねていく過程は、何版も重ねて刷り上げる版画の表現にも通じるものがあります。和紙の厚みを透かして見える色彩は柔らかく奥行を感じさせ、絵の中に独特の空間が生まれます。また自由闊達な墨の描写は、書の美にも似た精神性の高さを感じさせます。日本美術の妙味を宿した抽象的な絵画として、観る者の前に立ち表れてきます。

船坂のドローイング・コラージュをまとまった点数で一堂に並べる展覧会は今回が初となりました。版画とは異なる船坂芳助の世界観を、新たに体感していただけたことと思います。

【関連事業】

□ワークショップ　「彫り進み版画」
　9 月 18 日（日）13:00～16:00　講　師：船坂芳助氏　会　場：工芸室　参加者：11 人

□ミュージアムトーク
　10 月 2 日（土）13:30～14:30　講　師：船坂芳助氏　会　場：両展示室　参加者：26 人

【展示品】

No	作品名	制作年	作品サイズ(cm)	号数	材質技法
1	My Space and My Dimension D-26	1985	51.5×57.7		ダーマトグラフ、和紙、包装紙
2	My Space and My Dimension D-640	2018	100.0×80.3	40F	墨、和紙、キャンバス
3	My Space and My Dimension D-339	2003	100.0×100.0	40S	ダーマトグラフ、和紙、キャンバス
4	My Space and My Dimension D-334	2004	100.0×100.0	40S	ダーマトグラフ、和紙、キャンバス
5	My Space and My Dimension D-342	2003	100.0×100.0	40S	ダーマトグラフ、和紙、キャンバス
6	My Space and My Dimension D-316	2002	100.0×100.0	40S	ダーマトグラフ、和紙、キャンバス

7	My Space and My Dimension D-596	2015	100.0×100.0	40S	墨、和紙、キャンバス
8	My Space and My Dimension D-624	2016	100.0×100.0	40S	ダーマトグラフ、和紙、キャンバス
9	My Space and My Dimension D-318	2002	100.0×100.0	40S	ダーマトグラフ、和紙、キャンバス
10	My Space and My Dimension D-317	2002	100.0×100.0	40S	ダーマトグラフ、和紙、キャンバス
11	My Space and My Dimension D-355	2004	100.0×100.0	40S	ダーマトグラフ、和紙、キャンバス
12	My Space and My Dimension D-512	2012	80.3×65.2	25F	ダーマトグラフ、墨、和紙、ホワイトカードボード
13	My Space and My Dimension D-583	2015	100.0×80.3	40F	ダーマトグラフ、墨、和紙、ホワイトカードボード
14	My Space and My Dimension D-671	2022	100.0×80.3	40F	墨、和紙、ホワイトカードボード
15	My Space and My Dimension D-659	2019	116.7×90.0	50F	ダーマトグラフ、和紙、キャンバス
16	My Space and My Dimension D-476	2010	130.３×130.3	60S	ダーマトグラフ、墨、和紙、キャンバス
17	My Space and My Dimension D-637	2018	130.3×89.0	60P	ダーマトグラフ、墨、水干絵具、和紙、キャンバス
18	My Space and My Dimension D-582	2015	116.7×90.0	50F	ダーマトグラフ、墨、和紙、キャンバス
19	My Space and My Dimension D-636	2017	130.3×89.0	60P	墨、ダーマトグラフ、和紙、キャンバス
20	My Space and My Dimension D-477	2010	130.３×130.3	60S	ダーマトグラフ、墨、和紙、キャンバス
21	My Space and My Dimension D-494	2011	130.３×130.3	60S	ダーマトグラフ、墨、和紙、キャンバス
22	My Space and My Dimension D-635	2017	130.3×130.3	60S	ダーマトグラフ、墨、和紙、キャンバス
23	My Space and My Dimension D-567	2015	90.0×72.7	30P	ダーマトグラフ、墨、和紙、ホワイトカードボード
24	My Space and My Dimension D-629	2017	116.7×116.7	50S	ダーマトグラフ、水干絵具、墨、和紙、キャンバス
25	My Space and My Dimension D-392	2006	116.7×116.7	50S	ダーマトグラフ、和紙、キャンバス
26	My Space and My Dimension D-538	2013	130.3×130.３	60S	墨、和紙、キャンバス
27	My Space and My Dimension D-662	2020	130.3×99.0	60F	ダーマトグラフ、墨、包装紙、和紙、キャンバス
28	My Space and My Dimension D-665	2021	130.3×130.3	60S	墨、ダーマトグラフ、包装紙、和紙、キャンバス
29	My Space and My Dimension D-660	2019	100.0×80.3	40F	墨、包装紙、和紙、キャンバス
30	My Space and My Dimension D-617	2016	116.7×116.7	50S	ダーマトグラフ、和紙、キャンバス
31	My Space and My Dimension D-649	2018	130.3×130.3	60S	墨、ダーマトグラフ、和紙、キャンバス
32	My Space and My Dimension D-655	2019	130.3×130.3	60S	ダーマトグラフ、墨、和紙、キャンバス
33	My Space and My Dimension D-664	2020	130.3×130.3	60S	ダーマトグラフ、和紙、キャンバス
34	My Space and My Dimension D-652	2019	130.3×130.3	60S	ダーマトグラフ、和紙、キャンバス
35	My Space and My Dimension D-658	2019	130.3×130.3	60S	墨、和紙、キャンバス
36	My Space and My Dimension D-464	2010	130.3×130.3	60S	ダーマトグラフ、墨、和紙、キャンバス
37	My Space and My Dimension D-531	2013	100.0×80.3	40F	ダーマトグラフ、墨、和紙、ホワイトカードボード
38	My Space and My Dimension D-620	2016	100.0×80.3	40F	墨、和紙、ホワイトカードボード
39	My Space and My Dimension D-610	2016	130.3×89.0	60P	ダーマトグラフ、墨、和紙、キャンバス
40	My Space and My Dimension D-650	2018	130.3×89.0	60P	ダーマトグラフ、墨、和紙、キャンバス
41	My Space and My Dimension D-581	2015	130.3×89.0	60P	ダーマトグラフ、墨、和紙、キャンバス
42	My Space and My Dimension D-597	2016	90.0×72.7	30P	ダーマトグラフ、和紙、ホワイトカードボード
43	My Space and My Dimension D-378	2006	116.7×116.7	50S	ダーマトグラフ、和紙、キャンバス
44	My Space and My Dimension D-638	2018	130.3×89.0	60P	墨、ダーマトグラフ、和紙、キャンバス
45	My Space and My Dimension D-599	2016	116.7×116.7	50S	墨、ダーマトグラフ、和紙、キャンバス
46	My Space and My Dimension D-520	2012	90.0×72.7	30P	墨、和紙、ホワイトカードボード
47	My Space and My Dimension D-400	2007	116.7×116.7	50S	ダーマトグラフ、和紙、キャンバス
48	My Space and My Dimension D-609	2016	130.3×89.0	60P	墨、ダーマトグラフ、和紙、キャンバス

49	My Space and My Dimension D-554	2014	130.3×89.0	60P	ダーマトグラフ、和紙、キャンバス
50	My Space and My Dimension D-631	2017	130.3×99.0	60F	墨、和紙、キャンバス
51	My Space and My Dimension D-565	2015	116.7×90.0	50F	ダーマトグラフ、墨、和紙、キャンバス

【参考】

作家は東京の自宅で版画を制作しているが、ドローイングは美濃加茂のアトリエで制作している。当館で舩坂芳助版画展を開催した 2010 年に制作中の作品を見る機会を得た。墨の色と日本美術の特色を感じさせる余白を生かした画面、筆致は伸びやかで時に激しく、版画とは異質の表現がなされていた。版画とドローイング・コラージュを作家・舩坂芳助の表現の両輪と捉え、ドローイング・コラージュを紹介する展覧会の開催を決めた。

部屋を埋め尽くすほど膨大な作品群の中から、作家は 67 点を選んだ。搬入後、大きな作品を壁面の中央に配置し、現場で 51 点に絞り込んだ。舩坂はいつも、通常よりも 10cm ほど低い高さに作品を掛ける。展覧会は初期の小品から始まる。続くウォールケースには正方形の同形作品を並べた。2000 年代の作品はダーマトグラフという紙巻の色鉛筆で描かれたものが多いが、年を追うごとに墨を中心にした色の抑えた表現に向かう。

内覧会やトークで作家は、日本やアジアのニュースに関心が強いと語った。ダーマトグラフで描いた丸の形の集合はストライキやデモの群衆の頭を示し、台湾からの報道を見て島の形を和紙に描くことから始めた作品もあるという。また近年の作品に現れる、画面に等間隔に張り付けられた幾つもの約５ｍｍ角のオレンジ色の紙片は、震災時の福島の原発事故以降に付すようになったとも話した。

しかし完成作からは、そうした生々しい主題はほぼ読み取れない。それは作家が貼り重ねる行為の中で出来ていく形や線の面白さを体感しながら、和紙や墨といった素材の特性を生かした空間性の構築、日本の感性に基づいた抽象的な造形美を追求して、画面を変転させていったからであろう。

和紙の質感と格子状の形は、観る者に障子や襖を彷彿とさせる。海外でも高い評価を得てきた日本人の作家として、舩坂は日本の素材の力や日本人に備わっている美的な造形感覚を常に意識して表現を続けてきた。それが私たちの奥底にある感性にフィットするのであろう。激しい筆致の作品も少なからず含まれていたが、展示室は全体として落ち着きや穏やかさも感じられる空間となった。

［写真左上：企画展示室　入口付近の壁面］

［写真右上：企画展示室］

［写真左　：美術工芸展示室］

【アンケート結果】　（全 44 枚・複数回答あり）

選択設問から

① 展示の資料・作品の見やすさ（配置、明るさ、空間など）にご満足頂けましたか？

・ 満足	17
・ ほぼ満足	19
・ ふつう	7
・ やや不満	1
・ 不満	0
計	44

② 展示の資料・作品の分かりやすさ（解説、説明、パネルなど）にご満足頂けましたか？

・ 満足	11
・ ほぼ満足	15
・ ふつう	7
・ やや不満	9
・ 不満	2
計	44

③ 展示の資料・作品から満足感（感動、発見、知的刺激など）が得られましたか？

・ 満足	12
・ ほぼ満足	16
・ ふつう	6
・ やや不満	8
・ 不満	1
回答なし	1
計	44

④ この展示を他の人に伝え、来館をすすめたいと思いますか？

・ 大いに	15
・ 少し	6
・ どちらともいえない	14
・ あまりすすめたくない	4
・ すすめたくない	2
・ 回答なし	3
計	44

自由記述から

・こんな絵画もあるのかなという感じ。
・D-658 がとても印象に残りました。裏側から見るという発想が面白い。私たちの目に映るものはすべて裏側だとしたら？そう思うと新たな視点を与えられた気がします。
・作家さんの意図とか全くわからない。線画は特に意味不明。何らかの説明書が必要かと思う。墨が使ってあると少しは作品らしく見える。
・「和紙」や「ダーマトグラフ」とやらのサンプルがほしいと思う。ど素人にはちょっと厳しいかな？舩坂さんの他の作品が大好きです。
・作品の課程や意図するところ、作家さんの心など説明が何一つないとこから受けとめがたく、せっかくのおおくのさくひんを「なるほどー」とみることができないのがとても残念でなりません。作家さんのお話のビデオなどがあると良い。
・すいこまれていく魅力を感じました。
・作品名が、すべて同じで番号のちがいのみ。作者が何を訴えようとしているかが読み取れなかった。それぞれの作品がもととなるものか何について書こうとしたのかの紹介があると良かった。
・おもしろい
・My space and My Dimension 我思うゆえに我在りとも受け取れることができる。宇宙との一体化の間隔、とにかく雄大というかそう大な感覚。
・作品毎に、訴えたいテーマがあるものと思うが、作品名が「空間と次元」に統一されているため、作品と対面して観察して受け取ることを求められ、門外漢の者には、相当にハードルが高かったです。背面の白い壁と白色のキャンバスに書かれた複数の色彩が何とも言えぬ心地よさをかもしだしている作品があり、部屋に飾るには、テーマがなんであるかというよりも、視る者に与える心証がよければそれで充分なのかなと思ったところです。的外れな感想かもしれませんが、新奇な作品を見ることができて楽しかったです。
・作品の題名というものはないですか？作品の 1～3 作品でよいが、何を思って、考えて、時間をかけて、制作されたのか知りたかった。（説明がほしかった）
・和紙を重ねると色が薄くなる、見えにくくなる。それを作品に仕上げる作家の素材を見る視点にはっとしました。ガラスもない、直接見てやっと和紙の存在に気付く。ライブ感のある作品。
・すばらしい展示です。ゆったり自由な気持ちで見れました　。舩坂さんを新しく知った思いです。
・大変感動しました。来てよかったです。
・今日は 3 回目です。たぶん 4 回目があると思いますが、くるたび「今日の好きな 1 枚」が変わっていきます。
・作者の思いが伝わらない。作品の説明があれば・・・。素人にも理解できる説明があったらよいかと・・・。